

サーキュラーエコノミーパートナーシップに関するお知らせ

～「廃棄物のリサイクル・再資源化技術推進に関するサーキュラーエコノミーパートナーシップ」～

当社は、福島県相馬市・南相馬市の各自治体、企業、大学等と締結したサーキュラーエコノミーパートナーシップに、このたび新たなパートナーが加わることとなり、取り組み内容の一層の拡充を目的として、14団体による締結式を執り行いましたのでお知らせいたします。

記

当社は、第3次中期経営計画に掲げる「社会課題の解決に貢献する新規事業への挑戦」の一環として使用済み紙おむつの燃料化装置に注力しております。この取り組みを推進するため、2025年2月に相馬市、南相馬市をはじめとする自治体や動脈企業、山形大学とともに「一般廃棄物のリサイクル技術推進に関するサーキュラーエコノミーパートナーシップ」（以下、「当パートナーシップ」）を締結しました。発足以降も複数の企業や団体が新規加盟しており、産官学連携により、それぞれの有する強み・情報・資源を持ち寄ることで、地域社会の廃棄物に関する課題解決に貢献するリサイクル技術開発やスキームの社会実装に向けた実証・検証等に取り組んでいます。

この度、当パートナーシップは、地域のリサイクルニーズや廃棄物への対応力強化を目的として、一般廃棄物のリサイクルに特化した内容から廃棄物全般のリサイクル及び資源循環へと取り組みの幅を広げることとし、サーキュラーエコノミーへの転換をより一層推進します。取り組み内容の拡大に伴い、名称を「廃棄物のリサイクル・再資源化技術推進に関するサーキュラーエコノミーパートナーシップ」へと変更し、本日、新たに加盟された石油資源開発株式会社、東急建設株式会社、有限会社ドリームズファーム、株式会社福島銀行の4社とともに改めて締結式を執り行いました。

引き続き様々なパートナーの参画を歓迎し、“共創”の力で高度循環型社会並びに脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



(順不同)

パートナーシップ参画団体一覧 (2026年4月末時点)



締結の様子

(前列の右から2番目が当社宇谷執行役員)

以下もご参照ください。

2025年2月7日 [「一般廃棄物のリサイクル技術推進に関するサーキュラーエコノミーパートナーシップ」締結のお知らせ](#)

以上